



フィリピンの「ロータリークラブ会員とご家族」の皆様が来校します

校長 梶谷 雅弘



新緑が目優しい季節を迎えました。いよいよ、5月22日(木)に、フィリピンのカビテ州(マニラの南に位置しています。)から、現地のシューズバンクプロジェクトでお世話になっているロータリークラブ会長のRod Steven O. Vasquezさんを始めとした29名が、本校にいらっしゃいます。シューズバンクプロジェクトでお力添えを頂いている練馬中央ロータリークラブの設立20周年記念式典にあわせて来日することになり、南田中小学校にも訪問したいとお申し出があり、今回の来校が実現しました。本校では、毎年、4年生が、総合的な学習の時間の活動に、氏家茂美様を始め練馬中央ロータリークラブの皆様のお力添えを頂き、サイズの合わなくなった靴や履く機会がなくなった靴を保護者や地域の皆様に呼びかけて回収しフィリピンの子供たちへ送り、活用してもらおうと「シューズバンクプロジェクト」に取り組んできました。その活動で現地のフィリピンでお世話になっている皆さんに、直接お目にかかってお礼を申し上げる機会を得ることができたのです。

当日は、次のような計画を立て準備を進めています。

- ① 午前9時30分来校 体育館入り口から入室してもらい、洋ランチルームへ案内し、歓迎の挨拶をし、休憩をしていただく。
- ② 全校歓迎会(体育館にて)：10:00～10:20
 1. 歓迎の挨拶・児童代表の挨拶(学校の紹介も兼ねて)
 2. 訪問団より挨拶
 3. 歓迎の歌 校歌・今月の歌(ドレミの歌)
- ③ 3時間目：各学級の授業参観
- ④ 4校時目：6年2組外国語活動授業参観
- ⑤ 給食時の会食： 12:15～13:00
4・5・6年生の各学級とみなみん学級の高学年グループの7学級に訪問団の方をお招きし、各学級の児童と会食をする。
- ⑥ 通訳担当保護者・接待ボランティアと訪問団との懇談会(洋ランチルームにて) 13:30～14:00
- ⑦ 訪問団見送り 14時05分頃

昨年度は、2月5日(水)から28日まで、現在の5年生がシューズバンクプロジェクトに取り組み、437足の靴を回収しロータリークラブの皆さんにフィリピンに送って頂きました。

特に、今回は、南が丘中学校の教職員の皆様や生徒の皆さんにも協力をお願いし、代表の4年生が直接中学校の正門に立ち回収させて頂きました。大勢の教職員・生徒の皆様へ協力して頂き、児童は、大感激していました。中学校のホームページにも紹介して頂き南が丘中学校のお近くにお住まいの方からも靴を頂く事ができました。

中学3年生の皆さんは、ちょうど都立高校の受験と重なっていましたが、協力を頂きました。何とお礼を申し上げてよいか分かりません。また、中学校卒業時に体育館履きを寄付していくそうですが、3年生の先生方が、その靴の中からきれいな物を選び、来年度のために保管してくださっているそうです。ご協力頂いた皆様に心より御礼申し上げます。

この活動に参加した児童は、活動を通して、人のために役に立つ活動に参加できたという実感や喜びを、また、靴を提供してくれた方々への感謝の気持ちも自然に生まれ、人間として大切な思いやりの心を育んできました。

「私が一番大変だったのは、朝8時～8時15分まで、大きい声を出して靴を集めたことです。でも、フィリピンの子供たちの笑顔をもっと増やしたいので頑張りました。最初は、どうしてこんな事をするのか分からなかったけど、だんだん分かってきて楽しくなりました。後は、ロータリークラブの皆さん、フィリピンの子供たちに笑顔を届けてください。自分の子だけではなく、人のことも考えることを教えてくれて有り難うございました。」

「一番うれしかったのは、靴が全部で437足集まったことです。フィリピンの子供たちに喜んでもらえると思ったからです。靴を洗って持て来てくれた人が大勢いてとてもうれしかったです。来年の4年生も是非頑張って活動をして欲しいと思います。」

毎年、このような感想をどの児童からも聞くことができます。この活動の魅力がこの感想に詰まっています。こんな感動を毎年味わうことができるのも、日本とフィリピンのロータリークラブの皆さんのおかげです。5月22日に訪問団の方々と交流し、一人一人の児童が、練馬区から東京へ日本へ更にフィリピンそして海外の国々の人々へと関心や視野を広げ、将来の自分の生き方を考えるきっかけになって欲しいと強く願っています。

通訳については、南が丘中学校の英語の先生にもお願いをしています。保護者の皆様から3名の通訳ボランティアをお申し出を頂きました。一人でも多くの皆様に通訳ボランティアをお願いできれば幸いに存じます。通訳ボランティアのお申し出をお待ちしています。よろしく申し上げます。